

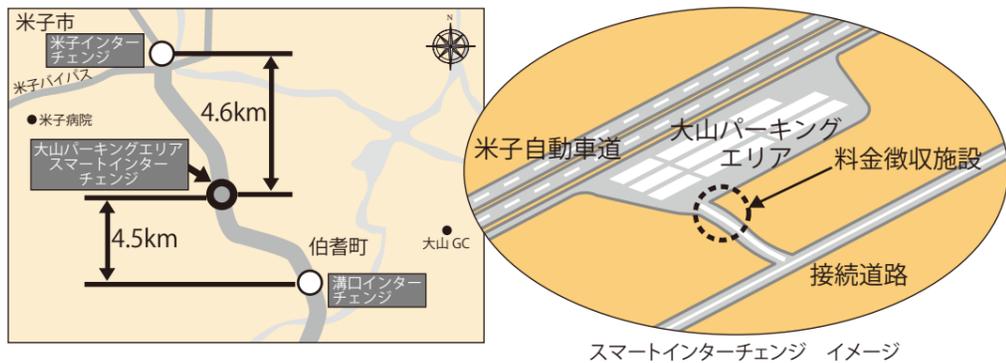


大山パーキングエリア

大山パーキングエリアから米子自動車道へ乗り降りできる、ETC搭載車両専用のインターチェンジ、スマートインターチェンジが整備されることとなりました。今年度から事業に着手し、来年度に工事着工、平成23年の春に供用開始される予定です。整備により、付近の方の利便性の向上はもちろんのこと、既存の溝口や米子のインターチェンジと合わせた周遊観光ルートの形成、産業振興、物流の効率化、救命医療の迅速化など、幅広い整備効果が見込まれます。

スマートインターチェンジの整備では、開閉バーなどの機器の設置については西日本高速道路㈱が整備を行い、アクセス道路については県が整備を行っていく予定です。

【問い合わせ先】
地域再生戦略課 経営企画室
☎68-4212



※スマートインターチェンジ
スマートインターチェンジは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両(料金の支払い方法)を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジです。
利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のインターチェンジに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

高速道路がもっと身近に

大山パーキングエリア スマートインターチェンジ(仮称)の整備

ブランド価値×商品価値で 全国へ

4商品を黒ぼくりゾート 大山高原ブランドに認定

今年4月に発足した伯耆町黒ぼくりゾート大山高原協議会が、8月24日、初めてのブランド認定審査委員会を開催しました。

この日は、学識経験者や一般消費者を含めた6名の委員により、協議会の会員の3者から申請のあった酒や味噌など4つの加工品について、長時間にわたる審査が行われました。

審査の結果、申請された4品全てが基準を満たし、それぞれ大山高原ブランドに認定されました。



特に優れたものとして四つ葉表彰を受賞した八郷特別純米酒



特に優れたものとして四つ葉表彰を受賞した大山Gビール。写真は8月から好評販売中の大山ゴールド



優れたものとして三つ葉表彰を受賞した「たまる手造り味噌」「たまる生醤油」

| 認定表彰の種類 | ブランド認定審査の結果 |
|---------|----------------------------|
| 三つ葉表彰 | 特に優れたものとして認められた回数3回以上であるもの |
| 四つ葉表彰 | 特に優れたもの |
| 三つ葉表彰 | 優れているもの |

「どの商品も魅力的、全国に出しても伯耆町の名に恥じないものばかり」と、話す幸形信之協議会会長。

審査委員会に出品された「八郷特別純米酒(久米桜酒造㈱)」「大山Gビール(久米桜麦酒㈱)」「たまる手造り味噌・たまる生醤油(田村商店)」は、どれも環境への配慮や自然への感謝、癒しやホスピタリティなど、作り手の心が溢れています。

審査委員として参加した奥田英樹さん(株)米子青果は「伯耆町には、まだ知られていない良いものがあるはず、ブランド認定品がどんどん増えて、協議会や町のPRになれば…」と、このブランド認定制度に期待を寄せていました。

込められた心は、人・自然・町への思いやり



【問い合わせ先】
伯耆町黒ぼくりゾート 大山高原協議会
☎68-3161

協議会では、会員による特産品開発や県内外でのイベントで、物産販売などにより伯耆町をPRしていきます。

現在、鳥取ファンクラブを中心としたカタログ販売をしています。今後は、ホームページを開設し、全国への通信販売網を整備していく予定です。



大山高原ブランドを全国へ発信したい(幸形会長)

大山高原ブランドの知名度を全国に広げていくことが、今後の課題